

西伊豆健育会病院 放射線科 診療放射線技師 川野 高志

功 績 培ってきた経験・知識を活かし、今ある機器のパフォーマンスを高め、検査の正確性の向上、時間の大幅短縮を実現するとともに、今できる最大限の画像提供が出来るように医師や機器メーカーへと積極的にアプローチを行い検査精度を上げた功績。

推 薦 者 放射線科 科長 石川 滋彦

推 薦 理 由 限られたハード・検査機器・医療資源の中でも決して諦めることなく、より良い検査方法の実施を追求しようという使命感を持ち、業務を実践している川野を他の職員の様範といたしたく、理事長賞に推薦します。

内 容

川野は平成29年5月入職の診療放射線技師で勤続5年目で当院に入職する前の勤務経験から多くの種類のCT、MRIに携わっており、本人の機器に対する興味も加わり、放射線科の中において、もっともプロトコル（どのような条件で検査するかという手順・規格）について精通しています。

当院のCTとMRIは、64列以上がスタンダードとなりつつある中で導入後10年以上経過している16列CTであり、1.5T以上が常態化している中で0.4Tという永久磁石・低磁場のMRIで検査対応しています。2次救急病院の機器としては、性能上、難しい点が多々あります。

川野は、培ってきた経験・知識をいかし、今ある機器のパフォーマンスを高める為、プロトコルをデフォルトのものからオリジナルのものへ書き換え、検査の正確性の向上、時間の大幅短縮を実現しました。

また緊急時のみならず、通常時の検査においても、今できる最大限の画像提供が出来るように医師や機器メーカーへと積極的にアプローチを行い検査の精度を上げています。

画像の良し悪しは、患者さんの病気の早期発見、医師の正しい診断へと繋がっていきます。

CT、MRIは技術革新も早く、新しい撮影方法が次々と出てきます。川野は知識のアップグレードを怠らず日々学習・知識習得に励んでおり、結果として、当院の画像検査にプライスレスの影響を与えてくれています。

持ち前の向上心と行動力を生かし、西伊豆健育会病院を盛り上げてくれると確信しております。

今後の更なる成長に期待を込めて、川野を理事長賞に推薦します。